

日本宗教学会
第 75 回学術大会

2016 年 9 月 9 日～11 日

早稲田大学（戸山キャンパス）

【会場】 31・32号館

「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取り下さい。名札は、常に身に付け、お帰りの際にはご返却下さい。
2. **発表題目、パネル構成員の変更は一切認められません。**プログラムと同一にして下さい。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においで下さい。
・ **申し込み時に、パソコン用プロジェクタの使用を申請された方へ**
個人発表は発表の2人前、パネル発表は開始20分前までに、会場係にお申し出下さい。
4. 発表時に配布する資料は、余裕をもってご用意の上、会場係にお渡し下さい。
5. **発表時間は以下のように構成されます。時間厳守でお願いします。**
 - ・ 個人発表 発表15分、質問5分、計20分（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）
 - ・ パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保下さい。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
6. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの設置に時間が必要なことを加味して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
7. 万が一、発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表を詰めて行うことなく、予定時間通りに発表して頂きます。
理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。万が一やむを得ぬ事情により発表を取り消す場合は、速やかに、可能なかぎり事前に、大会実行委員会に連絡をして下さい。
8. **個人発表の『宗教研究』別冊用要旨について**
19頁『『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、9月16日までに、編集委員会に送信して下さい。
9. **パネル発表の『宗教研究』別冊用要旨について**
19頁『『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、代表者が発表者全員分をとりまとめて、9月16日までに、編集委員会に送信して下さい。
代表者は、「パネルの主旨とまとめ」と「パネルの欧文タイトル」、コメンテータの「コメント」を、9月23日までに、編集委員会に送信して下さい。
10. 構内での喫煙は、ご遠慮下さい。

受付	10・11日	36館2階	学生ラウンジ
会員休憩室	10・11日	32号館	325
クローク	10・11日	31号館	102
学会本部	10・11日	31号館	208
大会実行委員会本部	9日	31号館	208

大会日程

9月9日(金)

学会賞選考委員会	31号館301	12:30-13:30
庶務委員会	31号館302	13:00-14:30
国際委員会	31号館303	13:00-14:00
情報化委員会	31号館304	13:00-14:00
開会式	大隈記念講堂 大講堂	14:30-14:40

公開講演会	大隈記念講堂 大講堂	14:40-17:40
-------	------------	-------------

テーマ「宗教哲学の根本問題」

講演者	クラウス・リーゼンフーバー (上智大学名誉教授)
演題	意味への問い——宗教哲学の根拠づけのために——
特定質問者	氣多雅子 (京都大学教授) 美濃部仁 (明治大学教授)
司会	田島照久 (早稲田大学教授)

理事会	36号館681	18:00-20:30
-----	---------	-------------

9月10日(土)

研究発表(個人)	31・32号館各会場(2~3階)	9:00-12:40
評議員会	36号館681	12:40-14:00
研究発表(個人、パネル)	31・32号館各会場(2~3階)	14:00-16:00
会員総会	36号館382	16:20-17:40
懇親会	リーガロイヤルホテル東京 3階 ロイヤルホール	18:30-20:30

9月11日(日)

研究発表(個人)	31・32号館各会場(2~3階)	9:00-12:15
編集委員会	31号館301	12:15-13:00
プログラム委員会	31号館302	12:15-13:00
研究発表(パネル)	31・32号館各会場(2~3階)	13:15-15:15

開催校からのお知らせ

日本宗教学会会員の皆さま、本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ぜひご一読くださいますようお願い申し上げます。

- 1) 第75回学術大会における、すべてのプログラムは、公開講演会、懇親会を除き、「戸山キャンパス」において実施されます。
戸山キャンパスでは9月9日（金）、10日（土）、11日（日）と日本家族社会学会の学術大会が開催されていますため、少し混雑を生じるかもしれません。また、旧記念会堂が取り壊され工事中ですので多少のご不便をおかけいたしますことになるかもしれませんが、併せご了承ください。
- 2) 今回のプログラムでは発表者の希望、キーワードを考慮して部会を作成しましたが、人数の関係で必ずしも希望の部会に割り当てられていない場合があります。また、各部会のパネルは個人発表とは異なった研究分野もありますので、ご注意ください。
- 3) 会場には、大会参加者用の駐車場はございませんので、自家用車での来場はご遠慮願います。
なお、会場へのアクセスについては20頁の通りですので、ご参照ください。
- 4) 昼食は、9日、10日、11日とも、会場である戸山キャンパス38号館の戸山カフェテリアをご利用いただける予定です。
- 5) 自由に使用できるコピー機は設置しておりませんので、配布資料などは予めご自分でご用意ください。
- 6) クロークでは、お荷物をお預かりする用意はございますが、貴重品・衣服については預かりかねますので、ご容赦ください。
- 7) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- 8) 大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページでご確認ください。
- 9) 会場では学内WiFiは使用できません。ご了承ください。

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

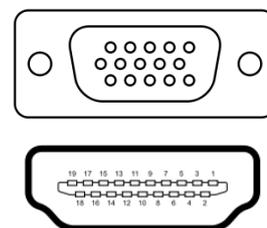
第 75 回学術大会での発表において、パソコン用プロジェクターの使用を希望される方は、以下の注意をご熟読ください。発表申込の際に機材の使用申込が行われない場合、また発表申込後に変更がある場合、対応はいたしかねます。また、機器の動作について完全な動作保証は難しいため、ご心配な方は事前に大会実行委員会にご相談ください。

① パソコンを持参する場合

各部会会場で使用するパソコン用プロジェクターは、VGA (D-Sub15 ピンのアナログ接続) (右上図)、HDMI (タイプ A、右下図) にのみ対応しています。

DVI、USB などの接続方式には対応していません。

パソコンによっては (Macintosh 等)、直接接続できない場合がありますので、VGA 変換アダプターをご持参ください。



また、ご持参のパソコンが接続できないトラブルも起こりえますので、USB メモリー等にプレゼンテーション資料を保存してお持ちください。

② パソコンを持参しない場合

USB メモリーでプレゼンテーション資料を、午前の部、午後の部それぞれの開始 15 分前に各会場にお持ちください。

その他の記録メディアをお使いになる場合は、USB 接続に変換する機器を各自ご持参ください。

事前にお持ちになる記録メディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

会場に用意されるパソコンは、Windows 7 (日本語版) で、PowerPoint 2010 です。音声の出力も可能です。

他の OS (Macintosh, UNIX 等) や他のソフトウェア (Keynote, OpenOffice.org 等)、特殊フォントには対応しておりませんので、ご注意ください。

また、あまり高性能なパソコンは用意できませんので、その旨ご了解ください。

公開講演会

宗教哲学の根本問題

日時：2016年9月9日（金）14：40－17：40

会場：大隈記念講堂 大講堂

共催：早稲田大学 総合人文科学研究センター

14：40－14：45	趣旨説明	田島照久（早稲田大学教授）
14：45－16：15	講演	クラウス・リーゼンフーバー（上智大学名誉教授） 「意味への問い——宗教哲学の根拠づけのために——」
16：15－16：30	休憩	
16：30－17：35	特定質問 ディスカッション	氣多雅子（京都大学教授） 美濃部仁（明治大学教授）
17：35－17：40	閉会の辞	田島照久

公開講演会の趣旨

人間の宗教的営為を人間理性によって規範的に問題とする宗教哲学は、それぞれ固有の宗教伝統のパスpekティブの下で人間存在の本質がどのようにとらえられるべきであるのか、あるいは究極的価値に向けて信仰や啓示という問題が理性や認識とどうかかわるべきなのか、あるいは不安、苦悩からの自由、解放がどのような自己理解に基づくべきなのかなどといった事柄を、これまで様々な神学・教義学の通時的伝統を手がかりにしてテーマ化してきました。しかし今日、世俗化が進行し、伝統的な宗教自体が衰退する中で—もちろん逆の現象も起きてはいますが—宗教哲学の存在の意義すら問われるかもしれません。

こうした現代において、あえて宗教の提示する諸メッセージに基づいて宗教哲学が扱うべき事柄を「宗教哲学の根本問題」というテーマの下で共時的に再検討、吟味し、講演者および特定質問者と共に考えていく機会を皆さんと共に持ちたいと思います。

講演者および特定質問者紹介

クラウス・リーゼンフーバー 哲学博士、神学博士

1938年ドイツに生まれる。1958年イエズス会入会。1965年ミュンヘン大学卒業、哲学博士。1967年来日し、1969年上智大学文学部哲学科専任講師。以降、同助教授、同教授、上智大学中世思想研究所所長を務める。現在、上智大学名誉教授。上智大学公開講座、土曜アカデミー（イグナチオ教会）などで継続して講義を行っている。近著に『クラウス・リーゼンフーバー小著作集』全5巻（知泉書館、2015年）がある。そのほか、中世哲学、近現代哲学、キリスト教、宗教哲学に関する論文、著作多数。

氣多 雅子 博士（文学）

1953年生まれ。1987年愛知技術短期大学専任講師。1988年金沢大学教育学部助教授、1998年同教授、2000年より京都大学大学院文学研究科教授。著作に『西田幾多郎「善の研究」』（晃洋書房、2011年）、『ニヒリズムの思索』（創文社、1999年）。そのほか、宗教哲学に関する論文、著作多数。

美濃部 仁 博士（文学）

1963年生まれ。1992年ドイツ学術交流会（DAAD）奨学生。現在、明治大学国際日本学部教授。『久松真一 覚の哲学』（編集解説・燈影舎、2002年）、『「知識学の叙述」1801/02年』（『フィヒテ知識学の全容』晃洋書房、2014年）のほか、フィヒテ、西田哲学に関する論文、著作多数。

第1部会 (31-205)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 宗教思想研究における人文情報学の応用—プロクロスを例にして— | 土井 裕人 (筑波大) |
| 2. 9:25- 9:45 | ルドルフ・オットーと宗教心理学 | 藁科 智恵 (東京外国語大) |
| 3. 9:50-10:10 | 「宗教史」の中の「宗教学」—オランダ宗教学創成期を中心に— | 久保田 浩 (立教大) |
| 4. 10:15-10:35 | 「老人介護文学」からみる高齢者の「生」と「死」 | 陳 甜 (東北大) |
| 5. 10:40-11:00 | 「文化的生命倫理・死生学を宗教学でいかに扱うか」の一考察 | 山本栄美子 (東大) |
| 6. 11:05-11:25 | 修復的正義論の展開における宗教の位置づけ | 本間 美穂 (東大) |
| 7. 11:30-11:50 | 抗議の神義論は擁護しうるか—死者の宗教哲学から考える— | 佐藤 啓介 (南山大) |
| 8. 11:55-12:15 | Faith, belief, 信心, 発心 | 土田 友章 (早大) |
| 9. 12:20-12:40 | 呪者の肖像—「呪術・宗教・科学」再考— | 関 一敏 (九大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 14:00-14:20 | 「宗教」の耐えられない軽さ—釋雲照と土宜法龍の近代日本— | 小田 龍哉 (同志社大) |
| 2. 14:25-14:45 | 大祓詞で罪発生に至るまでに詠われた日本国家・国体観の一考察 | 東郷 茂彦 (國學院大) |
| 3. 14:50-15:10 | 明治前期宗教メディアの再検討—翻訳論説を焦点として— | 星野 靖二 (國學院大) |
| 4. 15:15-15:35 | 日露戦争期の戦没者慰霊言説の展開—仏教系雑誌・新聞を中心に— | 小林 惇道 (大正大) |
| 5. 15:40-16:00 | 木食行に関する一考察 | ジョン・モリス (駒沢女子大) |

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 古代エジプトのマアト研究—葬祭文書の事例から— | 肥後 時尚 (関西大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 古代エジプトの宗教人間学—霊・魂の多様性と特殊性— | 吹田 浩 (関西大) |
| 3. 9:50-10:10 | 古代メソポタミアの神像と儀礼 | 細田あや子 (新潟大) |
| 4. 10:15-10:35 | 『ギルガメシュ叙事詩』新文書にみる自然と文明 | 渡辺 和子 (東洋英和女学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | 瞑想とエコビレッジ—目的共同体の現在— | 谷口 智子 (愛知県立大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教・スピリチュアリティの諸合法 (則) 性のからみ合い | 津城 寛文 (筑波大) |
| 7. 11:30-11:50 | 近代国家の宗教—宗教信念要素に関する意識調査を踏まえて— | 松野 智章 (東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 | 地下鉄サリン事件後 20 年間における学生の宗教意識の変化 | 井上 順孝 (國學院大) |

【午後】

パネル 現代宗教学におけるエリアーデ研究の展望

代表者：奥山 史亮

- | | | |
|-------------|-------------------------------|----------------|
| 13:15-15:15 | エリアーデにおける宗教史学と宗教現象学の受容と批判 | 奥山 史亮 (北海道科学大) |
| | 宗教史学をめぐる差異と反復—ベッタツツォーニとエリアーデー | 江川 純一 (東大) |
| | オランダ宗教学派とエリアーデー—時間論をめぐる— | 木村 敏明 (東北大) |
| | エリアーデ研究の現況と現代におけるエリアーデの意義 | 藤井 修平 (東大) |

コメンテータ：鶴岡 賀雄 (東大)

司会：奥山 史亮 (北海道科学大)

第2部会 (31-204)

9月10日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 井上哲次郎の「实在」の思想について | 寺田 光之(東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 清沢満之における宗教と哲学の語り出し | 内記 洸(京大) |
| 3. 9:50-10:10 | 西田幾多郎の見た対象論理のキリスト教 | 高橋 勝幸(南山宗教文化研究所) |
| 4. 10:15-10:35 | 過程と「永遠の今」—ヘーゲルと西田哲学— | 熊谷征一郎(京大) |
| 5. 10:40-11:00 | 鈴木大拙の「日本的靈性」私解 | 和田 真二(帝塚山学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 妙好人となった女性—薩摩国きぬと千代を手がかりとして— | 谷口 愛沙(大谷大) |
| 7. 11:30-11:50 | 田辺元の還相回向理解について | 浦井 聡(京大) |
| 8. 11:55-12:15 | 西谷啓治における「宗教」理解について | 長岡 徹郎(京大) |
| 9. 12:20-12:40 | 和辻倫理学における「間柄的存在」の構造 | 松澤 裕樹(大谷大) |

【午後】

パネル 井筒俊彦の「東洋哲学」における宗教と言語	代表者：澤井 義次
14:00-16:00 井筒のイスラーム研究と意味論	鎌田 繁(東大)
井筒「東洋哲学」とその外部	島田 勝巳(天理大)
宗教体験における根源現象から意味場の生成へ	小野 純一(東洋大)
井筒・東洋哲学におけるインド宗教思想と言語	澤井 義次(天理大)
	コメンテータ：氣多 雅子(京大)
	司会：澤井 義次(天理大)

9月11日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | シュヴァイツァーにおける倫理思想と文化観の関係性 | 岩井謙太郎(中部学院大) |
| 2. 9:25-9:45 | 祈りの対象としての「日常」 | 永井 隆之(台湾国立政治大) |
| 3. 9:50-10:10 | ジェイムズにおける宗教と科学と自然主義の関係 | 林 研(大阪保健医療大) |
| 4. 10:15-10:35 | シドニー・フックの「プラグマティズムと生の悲劇的意味」 | 長谷 瑞光 |
| 5. 10:40-11:00 | ジョン・ヒックのカント解釈をイギリス観念論として読む | 橘田 直樹(ノッティンガム大) |
| 6. 11:05-11:25 | チャールズ・テイラーの認識論 | 坪光 生雄(一橋大) |
| 7. 11:30-11:50 | ジャンケレヴィッチの道徳形而上学における人称性の問題 | 奥堀亜紀子(神戸大) |
| 8. 11:55-12:15 | 我死なむ！生きむため—マーラーの第二交響曲における死と復活— | 田口 博子(工学院大) |

【午後】

パネル 「信教の自由」のパラドクス—単線的進歩史観を越えて—	代表者：藤原 聖子
13:15-15:15 「信教の自由」研究動向—普遍性・規範性への疑義—	藤原 聖子(東大)
19世紀合衆国プロテスタントと普遍的信教の自由の要求	佐藤 清子(国士舘大)
日米関係における信教の自由—特殊性と普遍性の問題—	ジョリオン・トーマス(ペンシルバニア大)
現代ケベックにおける複数のライシテ観の競合と信教の自由	伊達 聖伸(上智大)
	コメンテータ：千葉 眞(国際基督教大)
	司会：藤原 聖子(東大)

第3部会 (31-203)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | コンスタンティヌスとリキニウス | 平 美和 |
| 2. 9:25- 9:45 | カルキディウスの『ティマイオス』解釈 | 土屋 睦廣 (早大) |
| 3. 9:50-10:10 | 包括者としての神—初期キリスト教思想の神的場所概念— | 津田 謙治 (西南学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | アベラルドゥスの原罪論 | 矢内 義頭 (早大) |
| 5. 10:40-11:00 | マイスター・エックハルトにおける反トマス主義的知性論の伝統 | 若松功一郎 (早大) |
| 6. 11:05-11:25 | クザーヌスのイデオータ思想の現代的意義 | 八巻 和彦 (早大) |
| 7. 11:30-11:50 | スピノザ『神学政治論』における正義について | 大野 岳史 (東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 | ニーチェの救済論 | 中路 正恒 (京都造形芸術大) |
| 9. 12:20-12:40 | ドイツ観念論における自然的宗教について | 諸岡道比古 (弘前大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | ブーバー研究の方法論—宗教哲学と倫理学— | 堀川 敏寛 (ハイデルベルク大) |
| 2. 14:25-14:45 | シモーヌ・ヴェイユにおける「無行為の行為」の概念 | 脇坂 真弥 (大谷大) |
| 3. 14:50-15:10 | マルキオンの二元論をめぐる所見—ブーバーとヴェイユ— | 伊原木大祐 (北九州市立大) |
| 4. 15:15-15:35 | ミシェル・ド・セルトーのキリスト教論 | 渡辺 優 (天理大) |
| 5. 15:40-16:00 | 闇は澄潭にその影を照らす。天地創造の場に居合わせたのは誰か。 | 松山 康國 (関西学院大) |

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 「絆」の概念の基礎付けを問う—我汝哲学の継承のための試論— | 小林 敬 (酪農学園大) |
| 2. 9:25- 9:45 | ハイデッガーにおける信仰と思索—「黒ノート」を中心に— | 田鍋 良臣 (大谷大) |
| 3. 9:50-10:10 | 前期P. ティリッヒにおける「突破」について | 平出 貴大 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | K. バルト著『ローマ書』に見る救済観—「人間の義」とは— | 水口 隆司 (同志社大) |
| 5. 10:40-11:00 | カール・バルトの伝道論 | 阿久戸義愛 (東北学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | ハインリヒ・バルトの「実存の哲学」 | 岡田 聡 (日本学術振興会) |
| 7. 11:30-11:50 | R. ニーバーと南原繁—キリスト教現実主義と自由主義批判— | 柴田真希都 (明治学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | プロテスタント神学にとっての『西洋の没落』 | 小柳 敦史 (沼津高専) |

【午後】

パネル 国学者「松山高吉」のキリスト教受容と宗教理解

13:15-15:15 松山高吉—その生涯と資料調査の現状—

松山高吉の伝統宗教理解—「神道・仏教・儒教」三教を中心に—

松山高吉の聖書翻訳原則—受容者としての聖書翻訳者—

松山高吉と日本語聖歌・讃美歌の翻訳—音と詞を中心に—

代表者：洪 伊杓

岡田 勇督 (京大)

洪 伊杓 (京大)

金 香花 (京大)

長畑 俊道 (東大)

コメンテータ：岩野 祐介 (関西学院大)

司会：岡田 勇督 (京大)

第4部会 (31-202)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | インドネシアの「預言者の医学」—神の癒しを媒介する技術— | 嶋田 弘之 (大東文化大) |
| 2. 9:25- 9:45 | フラートの著作に見る初期シーア派のクルアーン解釈 | 平野 貴大 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | アブルバカー著『クッリーヤート』における「承認」と「確信」 | 松山 洋平 (名古屋外国語大) |
| 4. 10:15-10:35 | イスラームの「倫理による統治」—カリフ・アリーへの任命状より— | 佐野 東生 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | モロッコのアルガン製油女性協同組合にみる宗教と持続可能な発展 | 岩崎 真紀 (九大) |
| 6. 11:05-11:25 | 慈愛と慈悲の構造分析を通じて見るイスラームの平和 | 四戸 潤弥 (同志社大) |
| 7. 11:30-11:50 | 結婚をめぐるイスラーム教徒の語り—現代のアラブ諸国を中心に— | 八木久美子 (東京外国語大) |
| 8. 11:55-12:15 | イシャーク・カーンの思想—現代カシミールにおけるイスラーム— | 拓 徹 (京大) |
| 9. 12:20-12:40 | シク教のイスラームとの共生思想の—考察—アマル・ダスの事例— | 保坂 俊司 (中央大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 14:00-14:20 | P. フロレンスキイの宗教思想における「単純さ」を考察する | イボウ・ブラジミロブ (京大) |
| 2. 14:25-14:45 | 『魔女への鉄槌』にみる夢魔信仰とその起源 | 田島 篤史 (関西大) |
| 3. 14:50-15:10 | 「太陽の聖母」から「無原罪の宿り」へ—マリア図像の変容— | 福田 淑子 (日本学術振興会) |
| 4. 15:15-15:35 | 東方キリスト教において受肉の目的を表す一つの表現について | リアナ・トルファッシュ (南山大) |
| 5. 15:40-16:00 | キリスト教正教イコンにおける実存的思索の構造 | 中里 巧 (東洋大) |

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 古代イスラエルにおける書記の伝統—交差的引用と交差的借用— | 高橋 優子 (酪農学園大) |
| 2. 9:25- 9:45 | ノアの洪水と動物供犠—ヤハウエとノアの関係に注目して— | 岩崎 大悟 (関西学院大) |
| 3. 9:50-10:10 | ヘブライ語聖書の女性預言者と降霊術師について | 高井 啓介 (慶大) |
| 4. 10:15-10:35 | 近世イタリアにおける反ユダヤ的思想と、そのユダヤ社会への受容 | 李 美奈 (東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 近代ユダヤ・ルネサンスにおけるブーバーとアグノン | 平岡光太郎 (同志社大) |
| 6. 11:05-11:25 | ユダヤ教と二つの近代—改革派ユダヤ教とモダンオーソドックス— | 後藤 正英 (佐賀大) |
| 7. 11:30-11:50 | ユダヤ教の定義をめぐる諸研究—方法と課題— | 志田 雅宏 (日本学術振興会) |
| 8. 11:55-12:15 | ユダヤ教研究における「学問」と「生」 | 佐藤 貴史 (北海学園大) |

【午後】

パネル 唯一神教の世界宗教史再考	代表者：市川 裕
13:15-15:15 唯一神教の二つの流れとその源流	市川 裕 (東大)
原始キリスト教を巡る社会状況と後の方向性への萌芽	土居 由美 (立教大)
「長い古代末期」の宗教史を書く—ローマの遺産と諸宗教の変容—	中西 恭子 (東大)
イスラーム統治下のユダヤ教徒に関する通史的視点の考察	嶋田 英晴 (國學院大)
	コメンテータ：葛西 康徳 (東大)
	司会：市川 裕 (東大)

第5部会 (31-201)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 | アメリカ合衆国の宗教的社会運動における女性参加について | 飯田 陽子 (東大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 宗教組織の女性に対する支援プロジェクトに見られる社会的意義 | 岡光 信子 (中央大) |
| 3. 9:50-10:10 | ペンテコスタリズムにおけるジェンダー | 野口 生也 (東京福祉大) |
| 4. 10:15-10:35 | ブラジル系ペンテコステ派教会という宗教コミュニティ | 山田 政信 (天理大) |
| 5. 10:40-11:00 | ラルシュ共同体運動の「公共性」と「宗教性」 | 寺戸 淳子 (専修大) |
| 6. 11:05-11:25 | 戦後期における韓国系キリスト教会—信者と教会活動の特徴— | 荻 翔一 (東洋大) |
| 7. 11:30-11:50 | 秩父キリスト教会の形成と展開—大正期を中心に— | 村松 晋 (聖学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 内村鑑三の神学的地理思考 | 竹村 一男 (立正大) |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教は—に帰すか—帰—協会とその試み— | 桐原 健真 (金城学院大) |

【午後】

パネル 宗教とウェルビーイングの比較宗教社会学	代表者：櫻井 義秀
14:00-15:40 宗教とウェルビーイング研究の概観	櫻井 義秀 (北大)
神話とウェルビーイング	平藤喜久子 (國學院大)
過疎地域の神社と若者の地方移住	板井 正齊 (皇學館大)
多世代信者をつなぐ「協働」教会—複数教会の支えあい—	川又 俊則 (鈴鹿大短大部)
	司会：櫻井 義秀 (北大)

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 新聞小説のなかの宗祖像—メディアと宗祖伝— | 大澤 絢子 (東京工業大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 柳宗悦の宗教観 | 淨謙 恵照 (龍大) |
| 3. 9:50-10:10 | 河口慧海と華嚴經 | 庄司 史生 (立正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 一念三千の心理学的考察 | 三輪 是法 (身延山大) |
| 5. 10:40-11:00 | 「精進料理」をめぐる言説の諸相 | 徳野 崇行 (駒大) |
| 6. 11:05-11:25 | 仏教と自殺—臨死の比丘をめぐる物語の主題— | 川本 佳苗 (日本学術振興会) |
| 7. 11:30-11:50 | ガンダーラ仏伝図「灌水」の場面に関する—考察 | 濱本 彩萌 (龍大) |
| 8. 11:55-12:15 | 日本近世仏教思想研究の課題—西村玲氏の提起した問題— | 末木文美士 (国際日文研) |

【午後】

パネル 国を越えた共通の宗教的信念はあるのか？	代表者：川端 亮
13:15-14:55 因子分析による宗教的信念の共通構造	川端 亮 (阪大)
確率モデルによる宗教的信念の1次元の共通構造	渡辺 光一 (関東学院大)
宗教的信念の国際比較のための用語について	宮嶋 俊一 (北大)
宗教的信念の国際比較と日本の特殊性について	島菌 進 (上智大)
	司会：川端 亮 (阪大)

第6部会 (32-224)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 達磨三論と達磨宗 | 高柳さつき (中村元東方研究所) |
| 2. 9:25- 9:45 | 大拙と臨濟録—無位の真人とは誰か— | 岡 廣二 |
| 3. 9:50-10:10 | 白隠禅師の門下の女性弟子—お察および恵昌尼の場合— | 竹下ルッジェリ・アンナ (京都外国語大) |
| 4. 10:15-10:35 | 鈴木大拙『禅の研究』に見られる1940年代の思索の深まり | 末村 正代 (関西大) |
| 5. 10:40-11:00 | 清沢満之の明治31年の東上と巢鴨監獄教誨師事件 | 藤原 智 (大谷大) |
| 6. 11:05-11:25 | ハワイ浄土宗寺院における信仰継承の諸相 | 魚尾 和瑛 (大正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 覚如教学と真宗倫理 | 釋 大智 (龍大) |
| 8. 11:55-12:15 | 真宗伝道における「御消息」の一考察 | 奥田 桂寛 (龍大) |
| 9. 12:20-12:40 | 真宗保育の実践に関する一考察 | 緒方 義英 (東九州短大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 「四依法」の行方—原始僧団より五五百年— | 筒井 奈々 |
| 2. 14:25-14:45 | パーリ仏典における attan の用法再考—再帰代名詞の観点から— | 田崎 國彦 (武蔵野大) |
| 3. 14:50-15:10 | 善光寺信仰と女人救済—立山信仰との観点から— | 小林 順彦 (大正大) |
| 4. 15:15-15:35 | 白山—越前馬場本宮平泉寺— | 小林 一葉 |
| 5. 15:40-16:00 | 『徹通義介禅師喪記』における提衣について | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 曇鸞の涅槃経観について | 長宗 博之 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 2. 9:25- 9:45 | 曇鸞の往生観についての一考察 | 溪 英俊 (浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 3. 9:50-10:10 | 親鸞と聖覚における『五会法事讃』の依用態度について | 西河 唯 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 4. 10:15-10:35 | 『恵信尼消息』第5通に見られる親鸞の内省について | 杉田 了 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 5. 10:40-11:00 | 親鸞の大蛇濟度譚 | 南條 了瑛 (龍大) |
| 6. 11:05-11:25 | 「浄土三経往生文類」にみる親鸞浄土教の聞名思想 | 山崎 隆弘 (龍大) |
| 7. 11:30-11:50 | 本願寺と『教行信証』 | 富島 信海 (龍大) |
| 8. 11:55-12:15 | 浄土真宗における信前信後について | 紅襟 英頭 (相愛大) |

【午後】

パネル 明治期における宗教体験の語りとその伝播

代表者：長谷川琢哉

- 13:15-15:15 宗教的「実験」の系譜—原坦山の心性実験録—
哲学者・清沢満之と浩々洞物語
近角常観の実験とその物語
体験の言説化とその変奏—綱島梁川から西田天香へ—

- 長谷川琢哉 (親鸞仏教センター)
名和 達宣 (真宗大谷派教学研究所)
岩田 文昭 (大阪教育大)
古荘 匡義 (龍大)

コメンテータ：深澤 英隆 (一橋大)

司会：長谷川琢哉 (親鸞仏教センター)

第7部会 (32-225)

9月10日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 法然における「且く」の用法について | 那須 一雄 |
| 2. 9:25-9:45 | 永観における浄土教の受容—中国三祖を中心に— | 山崎 真純(龍大) |
| 3. 9:50-10:10 | 阿弥陀堂の空間構造と基層概念 | 神居 文彰(佛光大) |
| 4. 10:15-10:35 | 真福寺大須文庫本『阿弥陀経義疏』について | 曹 勢仁(国際仏教学大学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | 『勝鬘経』十受章解釈の比較検討 | 楊 玉飛(国際仏教学大学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 『華嚴五教章』に於ける『華嚴経』の一考察 | 佐藤 海音(立正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 中陰仏事の意義—小児往生論を通して— | 榎屋 達也(龍大) |
| 8. 11:55-12:15 | 広蔵院日辰教学における下種論の一考察 | 神田 大輝(立正大) |
| 9. 12:20-12:40 | 棲浄斎誓鑑師(1753-1829)「解魔弁」考 | 那須 英勝(龍大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 高遠石工と法華信仰—富士門流を中心に— | 長倉 信祐(日蓮正宗教学研鑽所) |
| 2. 14:25-14:45 | 「死後法華誦経譚」の意味—『法華経』との一体化— | 間宮 啓壬(身延山大) |
| 3. 14:50-15:10 | 吉蔵による光宅寺法雲批判—吉蔵の法華注疏を中心に— | 林 瑞蘭(立正大) |
| 4. 15:15-15:35 | 山王院圓珍『法華論四種聲聞日記』について | 浅野 学(国際仏教学大学院大) |
| 5. 15:40-16:00 | 医療運動者と法華経信仰—平民病院主催・加治時次郎について— | 渡邊 寶陽(立正大) |

9月11日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 明治初期の日蓮宗不受不施の動向に対する一考察 | 内藤 幹生(千葉県文書館) |
| 2. 9:25-9:45 | 日蓮聖人における「以信代慧」をめぐる | 水谷 進良(立正大) |
| 3. 9:50-10:10 | 日蓮『撰時抄』と『注法華経』の関連について | 関戸 堯海(立正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 日蓮著『立正安国論』に対する科段分けをめぐる | 矢吹 康英(立正大) |
| 5. 10:40-11:00 | 『録内御書』の写本について | 堀部 正円(日蓮正宗教学研鑽所) |
| 6. 11:05-11:25 | 『四信五品鈔』の真蹟と日法・日目写本 | 中村 宣悠(立正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 日隆の著述にみる門流意識について | 米澤晋之助(立正大) |
| 8. 11:55-12:15 | 流布本『妙法蓮華経優波提舍』考 | 金 炳坤(身延山大) |

【午後】

パネル 宗教的ケアとしての読経の効果とその応用	代表者：谷山 洋三	
13:15-15:15	スピリチュアルケアから宗教的ケアへ	谷山 洋三(東北大)
	経文聴取による悲嘆軽減に関する測定実験の概要	奥井 一幾(神戸松蔭女子学院大)
	宗教的ケアの意義—宗教者の立場から—	森田 敬史(長岡西病院)
	宗教的ケアの意義—医師の立場から—	今井 洋介(新潟県立がんセンター新潟病院)
	コメンテータ：高橋 原(東北大)	
	司会：谷山 洋三(東北大)	

第8部会 (32-226)

9月10日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 伝統の再構築—現代インドにおけるサティール寺院の裁判闘争から— | 相川 愛美 (デリー大) |
| 2. 9:25-9:45 | 琉球風水における村落防護のシステム | 鈴木 一馨 (中村元東方研究所) |
| 3. 9:50-10:10 | 業と輪廻—カルマ・ヴィパーカのイスラーム的解釈の展開— | 榊 和良 (北海道武蔵女子短大) |
| 4. 10:15-10:35 | ジャカルタのヒンドゥー寺院と儀礼空間—奉仕と逸脱をめぐって— | 山下 博司 (東北大) |
| 5. 10:40-11:00 | ヴィヴェーカーナンダの宗教観の変遷—仏教とヒンドゥー教— | 外川 昌彦 (東京外国語大) |
| 6. 11:05-11:25 | 井上正鐵の教化活動 | 荻原 稔 (都立青峰学園) |
| 7. 11:30-11:50 | 中江藤樹の医学教育 | 鈴木 保實 |
| 8. 11:55-12:15 | 戦時下の日本主義と神仏観—松永材を中心に— | 藤田 大誠 (國學院大) |

【午後】

- | | | |
|-------------|---------------------------------------|----------------------|
| パネル | 山岳宗教の再構築—英彦山における修験道復興運動を事例として— | 代表者：亀崎 敦司 |
| 14:00-16:00 | 英彦山の修験道復興に関する現状 | 亀崎 敦司 (九大) |
| | 「修験」不在の山岳宗教—韓国・智異山の事例から— | 須永 敬 (九州産業大) |
| | なぜ松会は等覚寺に残ったのか | 中村 琢 (福岡大) |
| | 近現代の英彦山が失ったもの | 白川 琢磨 (福岡大) |
| | | コメンテータ：中西 裕二 (日本女子大) |
| | | 司会：亀崎 敦司 (九大) |

9月11日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 『恩賜録』に見える東西本願寺 | 御手洗隆明 (真宗大谷派教学研究社) |
| 2. 9:25-9:45 | 真宗における翻訳の基礎研究—特に「悪」を中心に— | 嵩 宣也 (龍大) |
| 3. 9:50-10:10 | 中国道教の救済思想とリユーザーのフェミニスト神学との対話 | 張 旋 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | 韓国における天理教の定着過程—信仰形態の変容をめぐって— | 陳 宗炫 (東北大) |
| 5. 10:40-11:00 | 戦前のシンガポールにおける火葬の議論 | 高棹 健太 (東北大) |
| 6. 11:05-11:25 | 朝鮮戦争の死者をめぐる葛藤—京畿道高陽市の事例— | 田中 悟 (神戸大) |
| 7. 11:30-11:50 | 「戦死者」処理の変遷—東部ニューギニア地域の事例から— | 中山 郁 (國學院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 『トリスタリーセトゥ』に見られる祖先祭祀の規則 | 宮本 久義 (東洋大) |

【午後】

- | | | |
|-------------|---------------------------------|----------------------|
| パネル | 日本・台湾・韓国における「水子供養」の歴史と現状 | 代表者：淵上 恭子 |
| 13:15-15:15 | 日本における水子供養の誕生とその展開 | 鈴木由利子 (宮城学院女子大) |
| | 越境する「水子供養」—台湾における嬰霊慰霊の展開— | 陳 宣聿 (東北大) |
| | 韓国仏教の「水子供養」—都市化・核家族化への対応— | 淵上 恭子 |
| | | コメンテータ：清水 邦彦 (金沢大) |
| | | コメンテータ：木村 文輝 (愛知学院大) |
| | | 司会：淵上 恭子 |

第9部会 (32-227)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 平安期陰陽師の天文解釈とその周辺 | 馬場真理子 (東大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 世紀転換期における神職と地域社会—青年矯風会の展開を中心に— | 原田 雄斗 (一橋大) |
| 3. 9:50-10:10 | 神社節日行事と国家の節会との関係について—五月五日を中心に— | 鈴木 聡子 (國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 松尾大社の祭礼に関する考察—「松尾社三箇大神図」を中心に— | 海上 直士 |
| 5. 10:40-11:00 | 明治期富士信仰系教派神道の書物出版 | 今井 功一 |
| 6. 11:05-11:25 | 中世後期における「幽霊」の用例—能本と諷誦文の検討を中心に— | 芳野 貴典 (総合研究大学院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 近世日本における鬼神論の多様性について | 井関 大介 (東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 | 近世名古屋の東照宮祭と宮廷儀礼 | 鈴木 一彦 (名大) |
| 9. 12:20-12:40 | 近世神道における神仏関係再考—両部の社と唯一の社— | 松本 久史 (國學院大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近代真宗本願寺派教団と後期関東別院 | 野世 英水 (龍大) |
| 2. 14:25-14:45 | 真宗における現代教学と社会 | 頼尊 恒信 (和歌山赤十字看護専門学校) |
| 3. 14:50-15:10 | 金子大榮における「死」の問題 | 東 真行 (大谷大) |
| 4. 15:15-15:35 | 親鸞と異義についての研究 | 塚田 博教 (相愛大) |
| 5. 15:40-16:00 | 真宗「封建」教学再考—高木顕明の還相回向論のルーツを求めて— | 菱木 政晴 (同朋大) |

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 佐賀から見た西川須賀雄 | 三ツ松 誠 (佐賀大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 顕偽録の論理と倫理 | 小野 久志 (聖学院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 改暦前後の神社祭祀 | 竹内 雅之 |
| 4. 10:15-10:35 | 三教一致論の「一致」の水準 | 森 和也 (中村元東方研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | 信仰継承における神職の葛藤—過疎地域仁淀川町を事例に— | 冬月 律 (モラロジー研究所) |
| 6. 11:05-11:25 | 食行身禄に関する新出史料 | 大谷 正幸 |
| 7. 11:30-11:50 | 日本人のイスラーム受容—日本イスラーム教団についての一考察— | 小村 明子 (上智大) |
| 8. 11:55-12:15 | 大谷光瑞と台湾—産業振興をめぐる— | 柴田 幹夫 (新潟大) |

【午後】

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| パネル 震災後の宗教とコミュニティ関与型調査からの再考察— | 代表者：弓山 達也 |
| 13:15-15:15 民俗芸能から見える地域の課題 | 弓山 達也 (東京工業大) |
| 仮設・復興住宅のコミュニティ再(々)構築における宗教の関与 | 齋藤 知明 (大正大) |
| 被災地から見る外国人と宗教—カトリック教会を中心として— | 星野 壮 (大正大) |
| 復興におけるエージェント間の共生と葛藤—宗教者の関わりから— | 稲場 圭信 (阪大) |
| | コメンテータ：山内 明美 (大正大) |
| | 司会：弓山 達也 (東京工業大) |

第10部会 (32-228)

9月10日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 統一教会における自民族中心主義—宗教から見る日韓関係— | 中西 尋子 (関西大) |
| 2. 9:25-9:45 | 女性と「おかげ」—明治期金光教東京布教と『令徳』— | 村山 由美 (宗教情報センター) |
| 3. 9:50-10:10 | 教団運営における適応と葛藤—戦後の大本を事例に— | 梶 龍輔 (駒大) |
| 4. 10:15-10:35 | 日系新宗教のアジアでの展開—タイと台湾での真如苑の事例研究— | リイサ・ベレスキン (國學院大) |
| 5. 10:40-11:00 | モルモン教のIT利用による布教戦略の変化に関する一考察 | 杉内 寛幸 (國學院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 戦後日本におけるエホバの証人の展開—統計資料の検討を中心に— | 山口 瑞穂 |
| 7. 11:30-11:50 | 多田鼎の犠牲観 | 村山 保史 (大谷大) |
| 8. 11:55-12:15 | 天理よろづ相談所「憩の家」の理念と事情部 | 深谷 耕治 (天理大) |
| 9. 12:20-12:40 | 「いちれつきょうだい」に見る天理教の人間観 | 堀内みどり (天理大) |

【午後】 国際委員会企画 日本宗教研究諸学会連合共催 (英語一部使用)

パネル 宗教研究と地球環境問題—国際グローバル理解年のために—	代表者：木村 武史
14:00-16:00 宗教研究から見えてくる宗教と地球環境問題	カール・ベッカー (京大)
環境問題に抱く恥の感情への宗教的応答について	サラ・E・フレデリックス (シカゴ大)
仏教と環境運動	馬場 紀寿 (東大)
道教にみる人と自然の関わり—洞天思想を中心に—	土屋 昌明 (専修大)
	コメンテータ：小原 克博 (同志社大)
	司会：木村 武史 (筑波大)

9月11日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 死生から再考する医療文化 | 日高 悠登 (阪大) |
| 2. 9:25-9:45 | 宗教的実践と「癒やし効果」の関係 | 森口 眞衣 (日本医療大) |
| 3. 9:50-10:10 | 傷ついた癒し手と法蔵菩薩—ケアの深層からのほたらき— | 坂井 祐円 (南山宗教文化研究所) |
| 4. 10:15-10:35 | 終末期医療における死生観とスピリチュアリティ | 半田 栄一 (中央大) |
| 5. 10:40-11:00 | 出版霊性主義—スピリチュアルの翻訳者たち— | ヤニス・ガイタニディス (千葉大) |
| 6. 11:05-11:25 | 五井昌久が受容したスピリチュアリズムの思想 | 吉田 尚文 (國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 新興仏教青年同盟の洞門僧と斎藤秀一師の反戦事跡 | 別府 良孝 |
| 8. 11:55-12:15 | 「永遠の哲学」と「伝統学派」 | 新田 智通 (大谷大) |

【午後】

パネル 人間を魂と受けとめる医療—医療者が信仰を持つ可能性—	代表者：馬淵 茂樹
13:15-14:55 医師の信仰が患者の自然治癒力を引き出す	馬淵 茂樹 (東京トータルライフクリニック)
人間を魂と受けとめる精神科医療	福島 一成 (藤枝市立総合病院)
医療者の信仰心とトータルペインの癒し	井口 清吾 (上尾甞生病院)
	コメンテータ：加藤 眞三 (慶大)
	司会：馬淵 茂樹 (東京トータルライフクリニック)

第11部会 (32-229)

9月10日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | アルコール依存症者家族の回復とスピリチュアリティ | 龍野 真愛 (北大) |
| 2. 9:25-9:45 | 薬物依存からの回復—ノア・レヴァインの仏教パンク— | 葛西 賢太 (宗教情報センター) |
| 3. 9:50-10:10 | 民族浄化とキリスト教—日本MTLはハンセン病をどう捉えたか— | 松岡 秀明 (東京慈恵会医科大) |
| 4. 10:15-10:35 | 人生の最期をどう迎えるか、どう支えるか | 冲永 隆子 (帝京大) |
| 5. 10:40-11:00 | 少年期の宗教性と向社会性—中学生へのアンケート調査から— | 高瀬 顕功 (大正大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教観が青年期適応に及ぼす影響—認知行動的変数相関— | 山崎 洋史 (國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 | ドーキンスとゲールド—科学と宗教の狭間で— | 十津 守宏 (大橋学園) |
| 8. 11:55-12:15 | 科学的事実論論争と宗教—創造論論争を事例として— | 谷内 悠 (東大) |
| 9. 12:20-12:40 | 創発説は決定論と自由意志との対立をどのように扱ったか | 冲永 宜司 (帝京大) |

【午後】

パネル 宗教を心理学することの意義と可能性	代表者：松島 公望
14:00-15:40 「宗教性」概念から宗教を心理学する	松島 公望 (東大)
心理学的研究という手法の特徴とその成果	荒川 歩 (武蔵野美術大)
「卒業証書」と聖人からみる子どもの死の受容と宗教性	大村 哲夫 (東北大)
	コメンテータ：寺田 喜朗 (大正大)
	司会：松島 公望 (東大)

9月11日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 近世日本の災害における死・埋葬・慰霊 | 朴 炳道 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 墓地の聖地化—東郷平八郎の埋葬を中心に— | 問芝 志保 (筑波大) |
| 3. 9:50-10:10 | 前世記憶をもつ子供たちの調査研究—スリランカの転生のケース— | 西田みどり (大正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 死者を記憶するあり方—GLAと岩手大槌町の事例から— | 大菅 俊幸 (曹洞宗総合研究センター) |
| 5. 10:40-11:00 | 自動搬送式納骨堂に宿る最先端メディアテクノロジー | 瓜生 大輔 (東洋大) |
| 6. 11:05-11:25 | 樹木葬選択者と檀徒との比較からみる現代的死生観の様相 | 内田 安紀 (筑波大) |
| 7. 11:30-11:50 | 地域社会における葬儀の合力組織—最上町の契約講を事例に— | 大場 あや (大正大) |
| 8. 11:55-12:15 | 告別式の普及と宗教性 | 山田 慎也 (国立歴史民俗) |

【午後】

パネル 宗教の時代としての1930年代—メディア・博覧会・反宗教—	代表者：永岡 崇
13:15-15:15 反宗教運動から宗教復興へ	近藤俊太郎 (龍大)
大本教の文書メディア戦略	對馬 路人 (関西学院大)
1930年代の大本と博覧会の思想	永岡 崇 (日本学術振興会)
昭和初期「生長の家」における出版戦略	栗田 英彦 (日本学術振興会)
	コメンテータ：川村 邦光 (阪大)
	司会：永岡 崇 (日本学術振興会)

第12部会 (32-324)

9月10日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 近世見世物における仏の表象化—大仏の細工物を中心に— | サランヤール・シューショートケオ (阪大) |
| 2. 9:25-9:45 | 山崎闇斎の精神的葛藤についての発達心理学的観点からの一考察 | 久保 隆司 (國學院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 行者仏教寺院と地域社会の「伝統」—熊本県八代市の事例から— | 加藤 之晴 (駒大) |
| 4. 10:15-10:35 | 講の再編と地域づくり—秋田県能代市の観音講を事例として— | 相澤 出 (爽秋会岡部医院研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教間対話研究所における月例研究会とその傾向 | 峯岸 正典 |
| 6. 11:05-11:25 | 祭礼形態の変遷と重層化—高知県南国市のエンコウ祭りを例に— | 永原 順子 (高知高専) |
| 7. 11:30-11:50 | 千箇寺詣の信仰関係資料—京都本法寺仁王像胎内文書の分析— | 望月 真澄 (身延山大) |
| 8. 11:55-12:15 | 修験寺院における陰陽道—新出の『篋篋』の分析— | 小池 淳一 (国立歴史民俗) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------|------------|
| 1. 14:00-14:20 | ブータダーマラタントラにおける信仰の諸相 | 藤井 明 (東洋大) |
| 2. 14:25-14:45 | ダルマの壁観伝承と譬喩解釈—宗教社会学言論考— | 宮村 重徳 (法大) |
| 3. 14:50-15:10 | 十二支考諸学の現代的意義と日本の宗教文化 | 濱田 陽 (帝京大) |
| 4. 15:15-15:35 | 日本における「宗教」と浪漫主義の展開 | 中村 芳雅 (東大) |
| 5. 15:40-16:00 | 社寺における法定外公共物の維持管理をめぐる諸問題 | 河東 仁 (立教大) |

9月11日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | 中国ヤオ族における伝統的祭りの混乱 | 覃 建恩 (長崎国際大) |
| 2. 9:25-9:45 | トルコ・イズミットにおけるシェヒート (シャヒード) の碑 | 佐島 隆 (大阪国際大) |
| 3. 9:50-10:10 | ボル・ポト政権後のカンボジアにおける政教関係 | 大坪加奈子 (九大) |
| 4. 10:15-10:35 | 日本統治時期台湾の宗教政策 | 李 争融 (創価大) |
| 5. 10:40-11:00 | 戦後日本の公有地上「宗教」施設の分布と特徴 | 塚田 穂高 (國學院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 民法による宗教系社団・財団法人の史的意義 | 大澤 広嗣 (文化庁) |
| 7. 11:30-11:50 | 琉球列島米国民政府 (USCAR) の「宣撫政策と宗教」の再検討 | 平良 直 (倫理研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | タイ政教関係論の諸相とその展開 | 矢野 秀武 (駒大) |

【午後】

- | | | |
|-------------|---------------------------------------|-----------------|
| パネル | アフリカ宗教の重層構造と地域的多様性—宗教人類学のこころみ— | 代表者：嶋田 義仁 |
| 13:15-14:55 | 西アフリカ内陸社会イスラーム文明の歴史的展開 | 嶋田 義仁 (中部大) |
| | 東アフリカ・スワヒリ海岸キルワ島における精霊ジニ信仰 | 中村 亮 (国立民俗) |
| | 南部アフリカ・バントゥ宗教文化における精霊マシャウ儀礼 | 松平 勇二 (日本学術振興会) |
| | 西アフリカ・ギニア湾岸の植民地都市アクラにおけるガ漁民新年祭 | 古澤 礼太 (中部大) |
| | | 司会：嶋田 義仁 (中部大) |

第13部会 (32-323)

9月10日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | 現代日本の怪異表象 | 古山 美佳 (國學院大) |
| 2. 9:25-9:45 | セドナのボルテックス | 中島和歌子 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | 祭礼としての運動会 | 今泉 隆裕 (桐蔭横浜大) |
| 4. 10:15-10:35 | ネオペイガニズムにおける死の伝統の創出 | 河西瑛里子 (大阪物療大) |
| 5. 10:40-11:00 | 災害復興における宗教者独自の役割—陸前高田市の事例を中心に— | 金沢 豊 (龍大) |
| 6. 11:05-11:25 | 心理的瑕疵物件の問題からみる日本人の自死イメージ | 小川 有閑 (大正大) |
| 7. 11:30-11:50 | ケアの倫理と宗教 | 宮本要太郎 (関西大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「青い芝の会」の宗教思想 | 山崎 亮 (島根大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 広島平和記念公園の「平和乃観音像」について | 君島 彩子 (総合研究大学院大) |
| 2. 14:25-14:45 | 近現代における自然農法の自然観 | 黒田純一郎 (東大) |
| 3. 14:50-15:10 | 現代パルシーとコミュニティメディア—情報提供か対立助長か— | 香月 法子 (中央大) |
| 4. 15:15-15:35 | 女兒結婚儀礼に代わるリシ・ブラバジャー儀礼受容の変化— | 工藤さくら (東北大) |
| 5. 15:40-16:00 | 反転する「女性の宗教的主体」言説をめぐって | 川橋 範子 (名古屋工業大) |

9月11日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 現代労働社会の倫理と宗教性のローカライゼーション | 清水 俊毅 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 現代における厄年の実態と変遷—大阪の神社調査から— | 田口 祐子 (國學院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 用語「宗教教育」再考 | 小山 一乗 (駒大) |
| 4. 10:15-10:35 | 道徳教育の中の宗教的情操教育 | 宮下 聡子 (お茶の水女子大) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教学校の定義を考える—哲学館の非宗教学校申請を手がかりに— | 江島 尚俊 (田園調布学園大) |
| 6. 11:05-11:25 | 長崎の聖地ツーリズムにおけるまなざしの交錯 | 池田 拓朗 (長崎国際大) |
| 7. 11:30-11:50 | 若者たちは利己主義者なのか—アニメ聖地巡礼者の祈願を事例に— | デール・アンドリュース (東北学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 現代宗教論における消費とマーケット | 山中 弘 (筑波大) |

【午後】

パネル 伝統的言語文化としての神話・昔話教育

代表者：大澤千恵子

- | | | |
|-------------|-----------------------------|---------------|
| 13:15-14:55 | 国語・日本語教育史における神話・昔話教材のイデオロギー | 石井 正己 (東京学芸大) |
| | 戦後公教育における神話・昔話教育の展開と課題 | 藤井 健志 (東京学芸大) |
| | 神話・昔話教育実践の現状と課題 | 大澤千恵子 (東京学芸大) |
| | 伝統的言語文化教育における比較神話学からの貢献の可能性 | 松村 一男 (和光大) |

司会：大澤千恵子 (東京学芸大)

『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

【今年度からの変更点】 メールでの送信のみとし、大会当日の紙原稿の提出は不要です。

大会HPからダウンロードした『宗教研究』90巻別冊要旨・入力ファイル（Word）を入力し、9月16日までに、添付ファイルで送信して下さい。

9月16日までに送信されなかった場合は、掲載不可となりますので、ご注意ください。

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 9月16日までに、「『宗教研究』90巻別冊要旨・入力ファイル」に入力した要旨をメールの添付ファイルで送信し、
 - ② 提出原稿の書式が、規定にそっている方
- パネル発表は、代表者が発表者全員分をとりまとめて送信して下さい。

- ① **作成と提出方法** 締切日：9月16日（受付開始：8月20日）
送信先：『宗教研究』編集委員会 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

大会HPの「別冊要旨入力ファイル」のバーから、『宗教研究』90巻別冊・入力ファイル（Word）をダウンロードし、

- ・ 1頁目 発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者名のローマ字表記 を入力
- ・ 2頁目 要旨 を入力

添付ファイルで送信して下さい。メールを受信した時は、必ず返信を出します。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

② 提出原稿の書式

縦書き 40字×40行以内（総文字数ではありません） 用紙：A4横
文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）
入力ファイルのページ設定の変更は不可。

縦書きのため、邦文中の数字は、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。
注記、参考文献は、要旨中に丸括弧で挿入する。図表等の掲載は不可。
日本語が母語でない方は、必ず、日本語上の精査を受けて下さい。

- ・ 欧文タイトル
英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

・ パネル発表

日本語以外の発表があった場合は、代表者の責任で、日本語の要旨を提出して下さい。
「パネルの主旨とまとめ」（40字×40行以内）、「パネルの欧文タイトル」は、代表者が執筆する。
コメンテータは、「コメント」（40字×40行以内）を提出することを原則とする。
「コメント」も、代表者が、編集委員会に送信して下さい。

『宗教研究』編集委員会

キャンパス・アクセスマップ

会場周辺



大会会場

住所 〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1

電車

JR 山手線	高田馬場駅から徒歩 20 分
西武鉄道新宿線	高田馬場駅から徒歩 20 分
地下鉄東京メトロ東西線	早稲田駅から徒歩 5 分
都電荒川線	早稲田駅から徒歩 5 分
副都心線	西早稲田駅から徒歩 17 分

バス

- 都バス 学 02 高田馬場駅ー早大正門、馬場下町バス停で下車
- 都バス 早稲田停留所

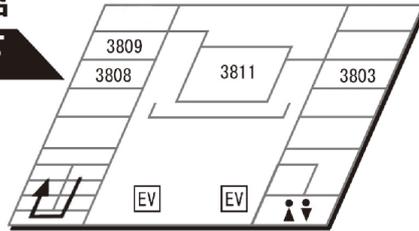
早稲田大学文学学術院（戸山キャンパス）マップ

<https://www.waseda.hp/top/access/toyama-campus> をご参照ください

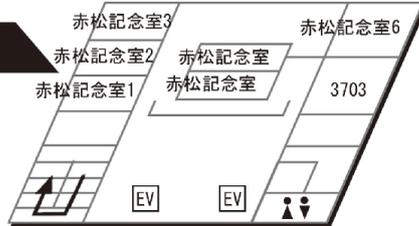


36号館

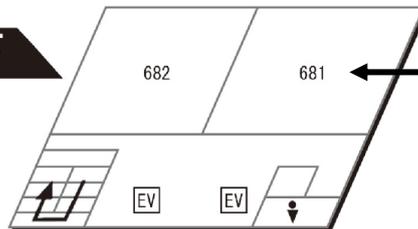
8F



7F

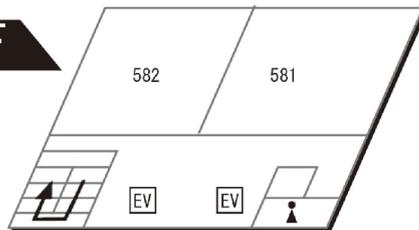


6F

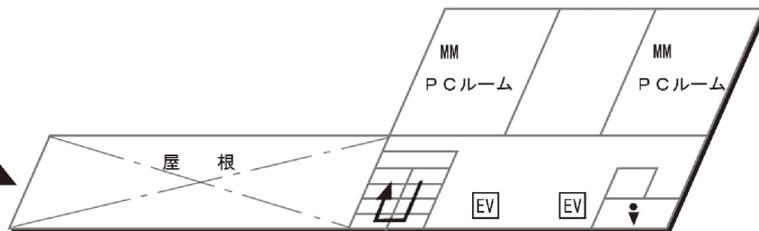


理事会・評議員会
36号館 681

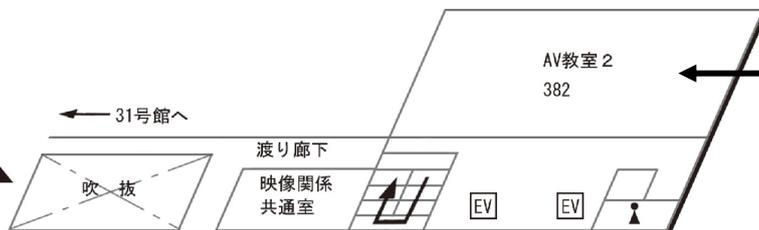
5F



4F

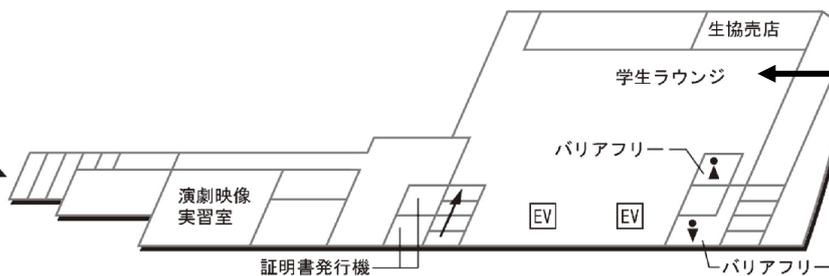


3F



会員総会
36号館 382

2F



大会受付
学生ラウンジ

日本宗教学会
第75回学術大会 実行委員会事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1

早稲田大学文学学術院

E-mail : jars75th@gmail.com

HP : http://jpars.org/annual_conference/